

校長室の窓から

その1 Kさんの訪問

13年ぶり2度目の頓原中学校勤務。さっそく教え子と出会ったり（Mさん、T君!）、かつての保護者の皆さんに声をかけていただいたり。

温かい気持ちをたくさん・・・いただくばかりではイカンと気を引き締めているところです。

そんな中、茨城に住む教え子、Kさんが母校を訪ねてくれました。

「Kです。」と笑顔いっぱい名乗る姿は中学生の時のまんま。（って、大人の女性には失礼かな。「すごく綺麗になって」とか、「見違えたよ!」とか、「大人っぽくなって…」とか言えばよかった。）

茨城の市立動物園に勤めているとのこと。（そういえば、中学生の時から動物に関わる仕事に就きたいって言ってたよね。夢をつかんだんだ。おめでとう!）

飯南高校から北海道の大学へ、そして市立の動物園に就職。まさに理想通り。

夢を実現した教え子を見るのは、とてもうれしくて、「教師って幸せだ」と心から思えます。

「好きな事やらせてもらってるから楽しい。」

・・・はじける笑顔がまたいい。

「明日は友人と動物園に行きます。」って、プライベートでも動物園ですか・・・そりゃ本物だ。

情熱を傾けられるものと出会い、生き生きと働く教え子の姿を見るのは、たぶん一番うれしい。

「長居してしまっって。」と恐縮しながら帰るKさんは、さわやかな風を残していきました。

Kさんは、「サルの楽園」担当です。

